

果樹カメムシ類発生量調査

発表日：平成19年9月 5日
調査地点：島根県出雲市芦渡町

概況：果樹カメムシの発生量はフェロモントラップでは出雲市（芦渡町、古志町）、益田市、いずれの調査地点でも少なく推移しています。また、予察灯（出雲市芦渡町）では平年に比べて少ないものの、8月4半旬から増加傾向にあります。果樹カメムシによる被害果は出雲市平田地区では0.4%（平年5.6%）と少なく推移しています。しかし、出雲市芦渡町の無防除園では8月31日の調査で3.0%（8月7日調査：0%）とやや増加傾向にあります。今後、圃場への飛来が予測されるため注意が必要です。

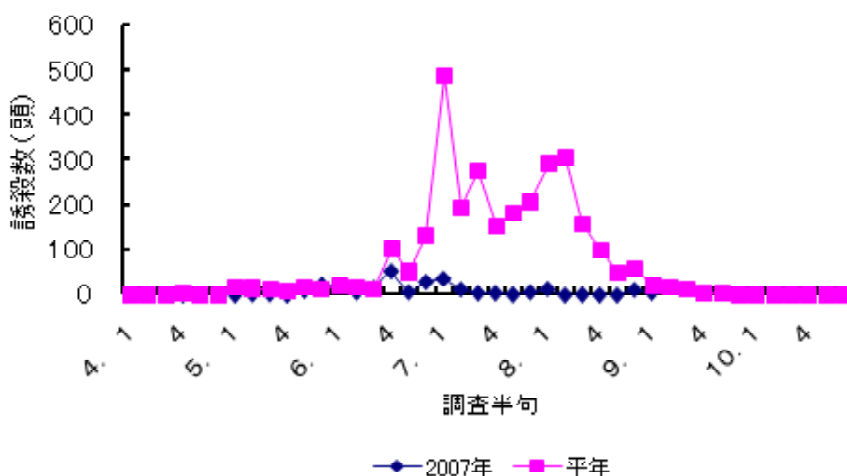


図1 チャバネアオカメムシのフェロモントラップにおける誘殺数

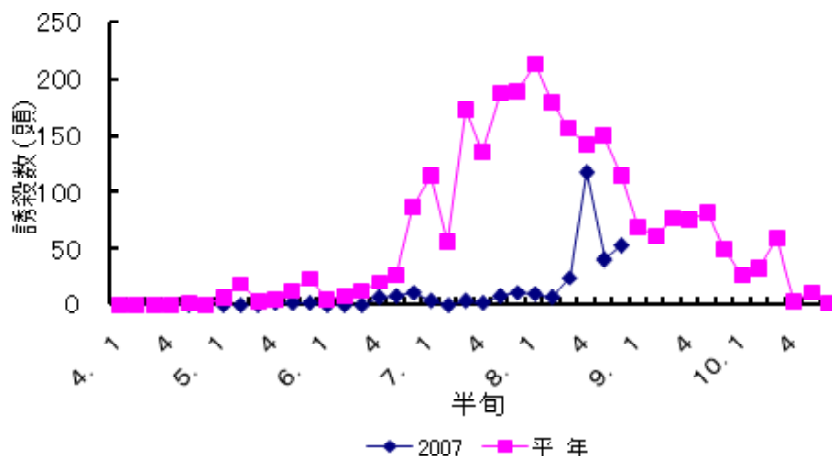


図2 予察灯における果樹カメムシ類の誘殺数

参考：フェロモントラップによるカメムシ調査は、チャバネアオカメムシのみをフェロモントラップによって誘引し誘殺頭数を数える調査です。
予察灯による調査は、水銀灯に集まるカメムシ（チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ）を数える調査です。